

(1) 前松山市環境総合計画の概要

本市では、良好な環境の保全及び創出に関する施策を総合的に推進していくため、平成15年に松山市環境総合計画を策定しました。

計画策定後は、計画に基づき、環境分野における多岐にわたる施策を推進してきました。また、年度毎に松山市環境総合計画実施計画を策定するとともに、計画に基づき実施する各種取り組みの進捗状況を毎年度、評価・点検してきました。

①策定時期

平成15年3月

②計画期間

平成15年3月から平成25年3月

③環境の範囲

「生活環境」「資源の循環的利用」「自然環境」「都市環境」

④環境の将来像

協働が築く自然と都市が調和するまち 松山

～地球にやさしい日本一のまちを目指して～

⑤基本目標

- ① 地球の未来を思い行動するまち
- ② 自然を守り育むまち
- ③ 水を大切にするまち
- ④ 限りある資源を大切にするまち
- ⑤ ゆっくりスムーズに移動できるまち
- ⑥ 古きをたずねて環境を学ぶまち
- ⑦ 環境を思いやる産業が育つまち
- ⑧ 人を愛し自然を愛する市民のまち

2 環境施策の評価

(2) 前計画の各基本目標における成果指標の目標達成状況

松山市環境総合計画実施計画では、基本目標毎に成果指標を定め、目標年度及び目標数値を掲げています。なお、第2次松山市環境総合計画策定時における各目標の達成状況は次のとおりです。

番号	基本目標	成果指標	計画策定時 最新の実績	達成状況
		目標値		
①	地球の未来を思い 行動するまち	松山市の温室効果ガス排出量	331万t-CO ₂ (平成22年度実績)	未達成
		平成32年度までに 平成2年度(331万t-CO ₂)より、18%(△ 56万t-CO ₂)削減し約272万t-CO ₂ とする		
②	自然を守り育むまち	レッドデータブック ¹ まつやま2002に掲載されている絶滅危惧種	550件 (平成23年度実績)	達成
		平成24年度まで550種の現状を維持する		
③	水を大切にするまち	市民1人1日当たりの上水道給水量	293リットル (平成23年度実績)	達成
		平成27年度までに 317リットル(平成13年度)から300リットル に削減する		
④	限りある資源を 大切にするまち	市民1人1日当たりのごみ排出量(家庭系ごみ)	503g (平成23年度実績)	達成
		平成22年度までに 617g(16年度)から612gに減量する		
⑤	ゆっくりスムーズに 移動できるまち	通勤通学における公共交通機関の利用率	国勢調査結果未公表	—
		平成24年度までに 7%(平成12年度)から10%に向上する		
⑥	古きをたずねて 環境を学ぶまち	子規記念博物館、考古館の入館者数	117,346人 (平成23年度実績)	未達成
		平成24年度までに 129,538人(平成14年度)から208,000人に増 やす		
⑦	環境を思いやる 産業が育つまち	プチ美化運動参加事業所数	年度末113社 (平成23年度実績)	達成
		平成24年度までに 51件(平成18年度)から100件に増やす		
⑧	人を愛し自然を 愛する市民のまち	環境学習・環境受講者数(エコリーダー ² による)	3,707人 (平成23年度実績)	未達成
		平成24年度までに 4,400人(平成14年度)から9,000人以上に 増やす		

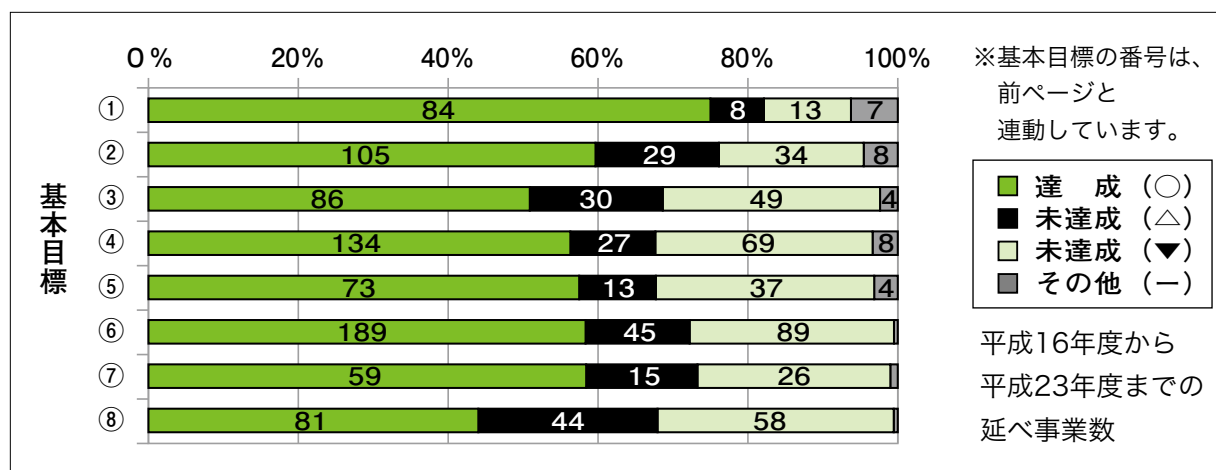
- ・①については、目標達成に向け順調に推移しています。
- ・②、③、④、⑦については、目標年度に達する前に、実績値が目標値を上回りました。
- ・⑤については、本計画策定時において数値が未公表のため、達成状況を評価することができませんでした。
- ・⑥、⑧については、このままでは目標年度までの達成が難しく、今後さらなる施策の推進が必要と考えられます。

1 P29に語句説明あり。

2 市民への啓発を効果的に行うことを目的に、環境学習会や環境講演会での指導者や講師として認定・登録された人。

(3) 前計画に基づいて実施した事業の目標達成状況

本市では、年度毎に、市が行なう様々な事業について、松山市環境総合計画の基本目標などの体系に沿って整理し、事業ごとに指標を定め、目標値を掲げるとともに、進捗状況の評価・点検しています。平成16年度から平成23年度までの基本目標毎の各事業における目標達成状況は以下のとおりです。



※達成 (○) は、事業ごとに掲げた目標を達成した事業です。

※未達成 (△) は、目標は達成していないが、前年の数値と同等または、前年の数値を上回った事業です。

※未達成 (▼) は、目標を達成しておらず、前年の数値も下回った事業です。

※その他 (ー) は、評価を行う時点で数値の公表がなされなかったことなどにより、達成状況を把握できなかった事業です。

基本目標毎の各事業における目標達成割合は、約60%となっており、最も目標達成割合が高かったのは、「①地球の未来を思い行動するまち」で約70%となっています。これは、この基本目標の内、多くの割合を占める環境汚染対策に係る事業において、目標達成割合が高かったことが要因と考えられます。

一方、最も目標達成割合が低かったのは、「⑧人を愛し自然を愛する市民のまち」で約40%となっています。これは、環境イベントへの参加者や、環境学習施設の入館者に関する目標達成割合が低かったことが要因と考えられます。

全体を通して目標未達成であった事業を見ると、イベントへの参加者数、施設の入館者数、及び補助金の申請者数を指標として定めている事業が多く見受けられます。

今後は、イベントや施設の魅力を向上させることに加え、環境情報を効果的に発信するなど、集客数を伸ばす手法を検討する必要があります。また、補助金については、制度の周知を図るため、積極的に情報を発信するとともに、時代の潮流に合わせ、施策を推進するための効果的な補助制度の在り方について柔軟に検討を行うことが必要と考えられます。

3

市民アンケートの概要

3 市民アンケートの概要

(1) 市民アンケート調査概要

①調査の趣旨

第2次松山市環境総合計画を策定するにあたり、本市の環境の現状と将来について、また市として取り組むべき課題について把握するため、以下のとおり市民各層の意見を調査しました。

②調査対象

対 象	配 付 数	回 答 数	回 答 率
一 般 市 民	2,200	780	35%
事 業 者	300	119	40%
高 校 生	293	293	100%
中 学 生	150	150	100%
小 学 生	221	221	100%
合 計	3,164	1,563	49%

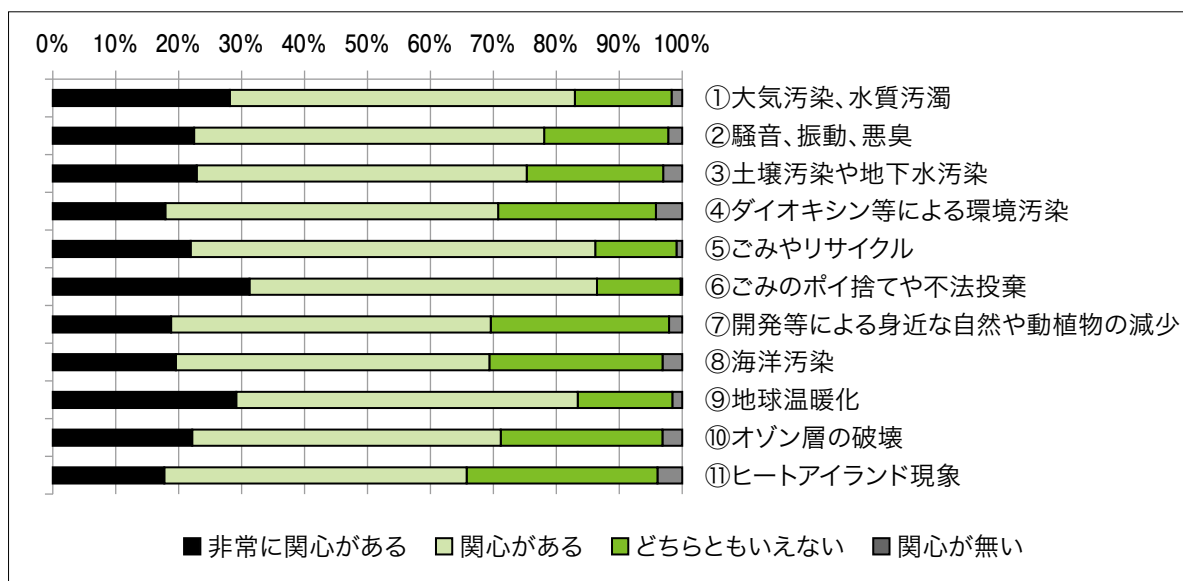
一般市民…市民から年齢別比例抽出
 事業者…市内の事業所から抽出
 高校生…市内の高校1校に依頼
 中学生…市内の中学校6校に依頼
 小学生…市内の小学校6校に依頼

③アンケート結果

実施したアンケートのうち、主な内容は次のとおりです。

ア 環境問題に対する関心

環 境 問 題	無回答	非常に 関心がある	関心が ある	どちらとも いえない	関心が ない
①大気汚染、水質汚濁	12	216	421	118	13
②騒音、振動、悪臭	14	172	426	151	17
③土壌汚染や地下水汚染	19	174	399	165	23
④ダイオキシン ¹ 等による環境汚染	14	137	405	192	32
⑤ごみやリサイクル	13	168	493	99	7
⑥ごみのポイ捨てや不法投棄	12	240	424	102	2
⑦開発等による身近な自然や動植物の減少	14	144	389	217	16
⑧海洋汚染	13	150	382	211	24
⑨地球温暖化	15	223	415	115	12
⑩オゾン層の破壊	17	169	374	196	24
⑪ヒートアイランド ² 現象	18	135	366	231	30



ごみに関する事項については、「非常に関心がある」「関心がある」を合わせて約85%と関心の高さがうかがえます。また、ダイオキシンやオゾン層の問題については近年話題として取り上げられることが少なくなったせいか、前回のアンケートより約10%減少しています。

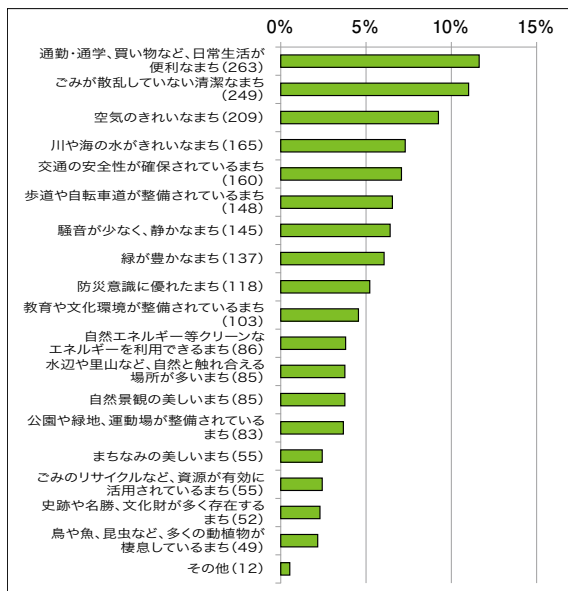
1 ごみの焼却等の過程で生成される有機塩素系化合物であり、その毒性は、発がん性、生殖毒性、催奇形性など多岐にわたる。

2 都市部の気温がその周辺の郊外部に比べて異常な高温を示す現象。高温により自然環境が影響を受け、住民の生活や健康にも影響を及ぼすことから問題視されている。

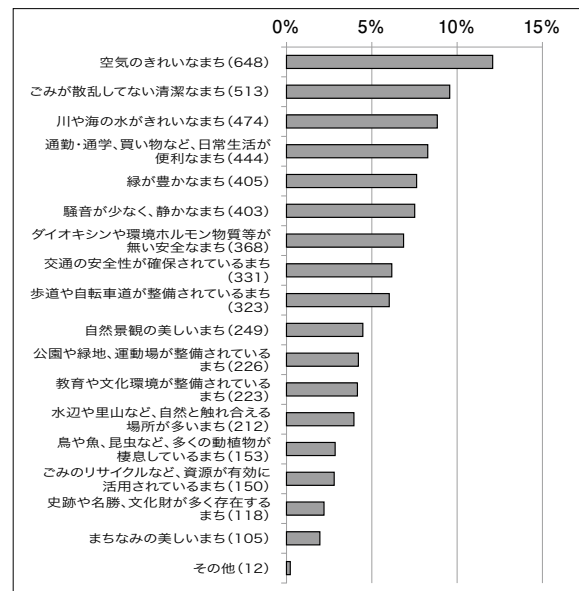
イ 居住地として望ましい環境（複数回答3つまで）

項 目	回答数
通勤・通学、買い物など、日常生活が便利なまち	263
ごみが散乱していない清潔なまち	249
空気のきれいなまち	209
川や海の水がきれいなまち	165
交通の安全性が確保されているまち	160
歩道や自転車道が整備されているまち	148
騒音が少なく、静かなまち	145
緑が豊かなまち	137
防災意識に優れたまち	118
教育や文化環境が整備されているまち	103
自然エネルギー等クリーンなエネルギーを利用できるまち	86
水辺や里山など、自然と触れ合える場所が多いまち	85
自然景観の美しいまち	85
公園や緑地、運動場が整備されているまち	83
まちなみの美しいまち	55
ごみのリサイクルなど、資源が有効に活用されているまち	55
史跡や名勝、文化財が多く存在するまち	52
鳥や魚、昆虫など、多くの動植物が棲息しているまち	49
その他	12

【今回のアンケート結果】



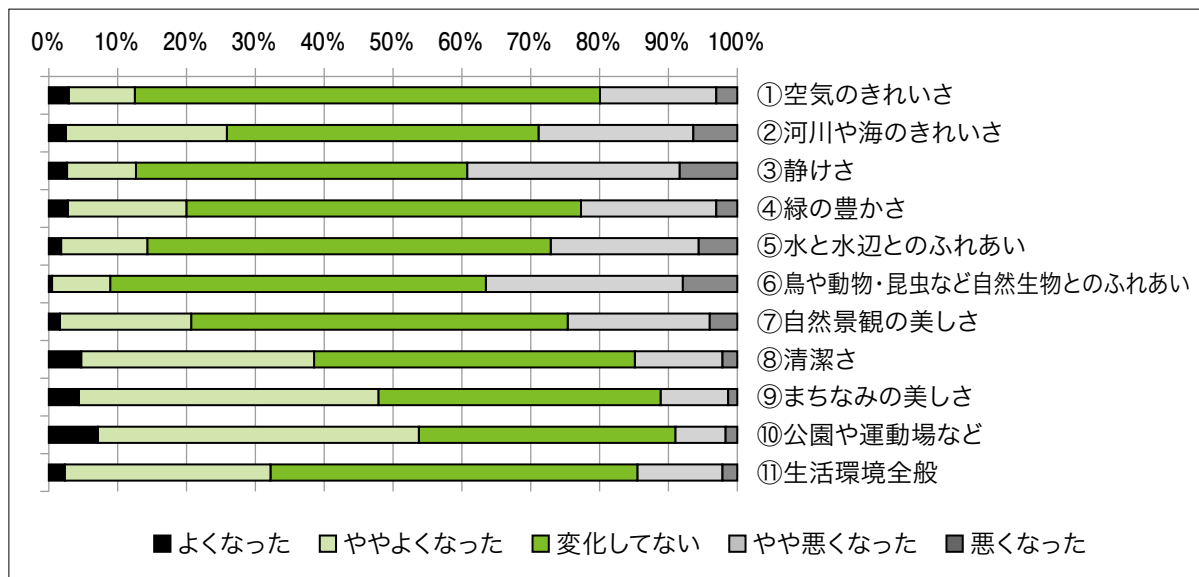
【前回のアンケート結果】



日常生活が便利なまちが最も居住地の環境として望まれています。続いて、清潔で空気や水がきれい、安全で道路が整備されており騒音が少ないなど、快適な住環境が求められています。この結果は、前回アンケートとほぼ同じ傾向です。

ウ 10年前と比較した松山市の環境

環 境 評 価 項 目	無回答	よくなった	ややよくなった	変化していない	やや悪くなった	悪くなった
①空気のきれいさ	20	24	73	511	127	25
②河川や海のきれいさ	25	20	177	339	170	49
③静けさ	25	22	75	363	231	64
④緑の豊かさ	24	23	130	431	147	25
⑤水と水辺とのふれあい	31	16	93	436	162	42
⑥鳥や動物・昆虫など自然生物とのふれあい	27	6	64	407	216	60
⑦自然景観の美しさ	31	14	142	408	154	31
⑧清潔さ	30	37	254	347	95	17
⑨まちなみの美しさ	25	35	327	308	73	12
⑩公園や運動場など	24	56	351	280	55	14
⑪生活環境全般	24	19	226	401	93	17

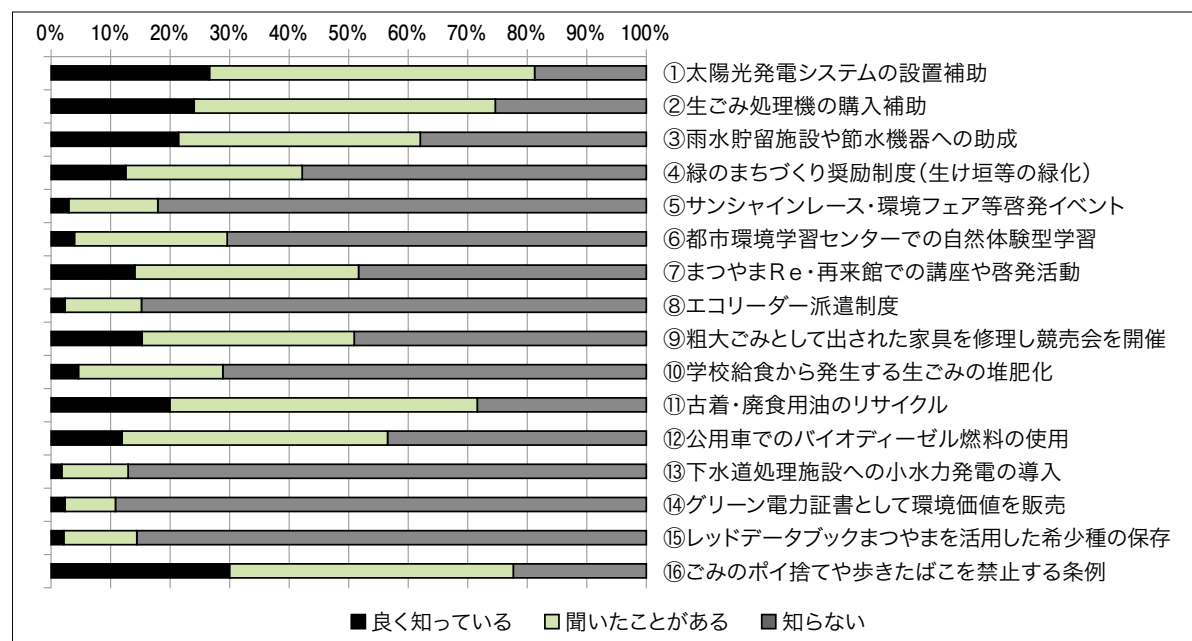


自然環境に関係する、空気や川・海のきれいさ、静けさ、緑の豊かさ、水・水辺や動植物とのふれあい、自然景観の美しさについては、よくなっていると感じている人より、悪くなっていると感じている人の割合が高く、本市の自然環境は徐々に失われつつあると感じている方が多いようです。しかし、清潔さ、まちなみの美しさ、公園や運動場、生活環境全般などの美観や生活環境は、向上したとプラス評価している方が多いようです。

前回のアンケートと比較すると、全体的に「よくなった」「ややよくなった」と感じている割合が増加しており、特に、静けさや緑の豊かさ、生活環境全般の項目は、よくなっていると感じている人の割合が、10%以上増加しています。また、ほぼ全項目で「変化していない」の割合が増えており、悪くなっていると感じている人の割合は減少しています。

エ 環境を良くするための取り組み

環 境 を 良 く す る 取 組	無回答	良く 知っている	聞いた ことがある	知らない
①太陽光発電システムの設置補助	21	202	415	142
②生ごみ処理機の購入補助	23	181	384	192
③雨水貯留施設や節水機器への助成	28	160	307	285
④緑のまちづくり奨励制度（生け垣等の緑化）	25	94	225	436
⑤サンシャインレース ¹ ・環境フェア等啓発イベント	29	21	113	617
⑥都市環境学習センターでの自然体験型学習	29	27	196	528
⑦まつやまRe・再来館での講座や啓発活動	29	104	283	364
⑧エコリーダー ² 派遣制度	35	17	95	633
⑨粗大ごみとして出された家具を修理し競売会を開催	27	115	268	370
⑩学校給食から発生する生ごみの堆肥化	30	33	183	534
⑪古着・廃食用油のリサイクル	25	149	393	213
⑫公用車でのバイオディーゼル燃料の使用	27	90	336	327
⑬下水道処理施設への小水力発電の導入	29	12	84	655
⑭グリーン電力証書 ³ として環境価値を販売	31	16	63	670
⑮レッドデータブック ⁴ まつやまを活用した希少種の保存	28	15	93	644
⑯ごみのポイ捨てや歩きタバコを禁止する条例	21	227	363	169



補助制度や日常生活に密接に関係しているごみに関する施策の認知度が高いようですが、本市が実施しているイベントやエコリーダー派遣制度、小水力発電の導入、グリーン電力証書の販売、レッドデータブックまつやまの活用については、認知度があまり高くありません。

1 ソーラーラジコンカーによる耐久レース。

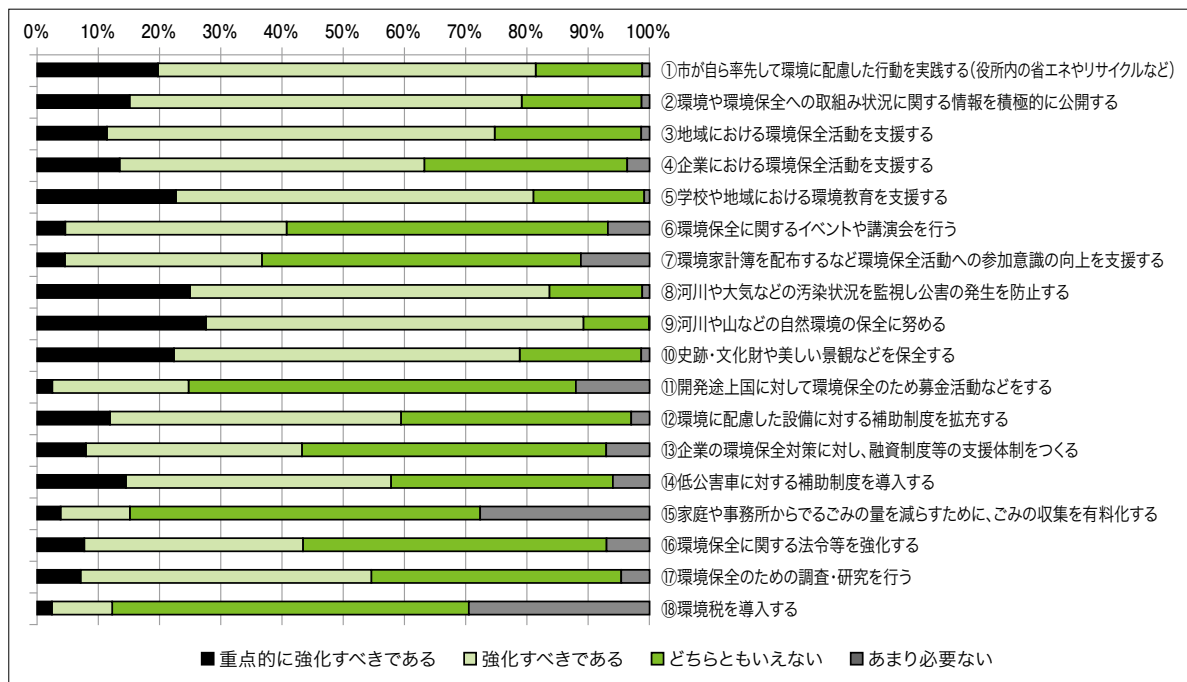
2 P31に語句説明あり。

3 再生可能エネルギーによって得た電力の環境付加価値を取引き可能な証書にしたもの。

4 P29に語句説明あり。

オ 本市が取り組むべき事項

項 目	無回答	重点的に 強化すべき である	強化すべき である	どちらとも いえない	あまり 必要ない
①市が自ら率先して環境に配慮した行動を実践する (役所内の省エネやリサイクルなど)	36	148	458	129	9
②環境や環境保全への取り組み状況に関する情報を積極的に公開する	38	113	475	144	10
③地域における環境保全活動を支援する	37	86	470	176	11
④企業における環境保全活動を支援する	38	100	369	246	27
⑤学校や地域における環境教育を支援する	35	169	435	135	6
⑥環境保全に関するイベントや講演会を行う	39	36	268	387	50
⑦環境家計簿を配布するなど環境保全活動への参加意識の向上を支援する	42	34	238	383	83
⑧河川や大気などの汚染状況を監視し公害の発生を防止する	36	187	436	111	10
⑨河川や山などの自然環境の保全に努める	37	206	457	78	2
⑩史跡・文化財や美しい景観などを保全する	36	168	419	147	10
⑪開発途上国に対して環境保全のため募金活動などをする	37	20	165	469	89
⑫環境に配慮した設備に対する補助制度を拡充する	38	90	352	277	23
⑬企業の環境保全対策に対し、融資制度等の支援体制をつくる	42	60	261	365	52
⑭低公害車に対する補助制度を導入する	39	109	319	268	45
⑮家庭や事務所からでるごみの量を減らすために、ごみの収集を有料化する	40	29	85	421	205
⑯環境保全に関する法令等を強化する	39	59	264	366	52
⑰環境保全のための調査・研究を行う	39	54	351	301	35
⑱環境税を導入する	38	18	75	430	219



市民は本市に対して、率先した環境配慮行動や積極的な情報公開を行うべきと感じているほか、自然環境や美しい景観の保全及び公害発生の防止など、快適な生活環境を守るための取り組みや環境教育の支援などを主に強化するべきと考えています。